仮想化 第 2 弾 執筆: 平成 22 年 7 月 19 日

ページ:<u>123</u>

VMware でデスクトップに仮想化環境を作ろう。

VMware は、VMware 社の仮想仮想化ソフトウェアです。

VMware の仮想化には、VMware vSphere か VMware Server/Player を用います。

「VMware vSphere」と「VMware Server/Player」の違いは、

本執筆ではデスクトップ (ホストOSである Windows) 上に仮想環境を作るので、VMware vSphere は使いません。

イメージ

[ゲストOS (Linux)][ゲストOS (Linux)][ゲストOS (Linux)]...

[ホストOS (Windows)]

VMware vSphere には、無償版の「VMware vSphere Hypervisor」(ESXi) と 有償版の「VMware vSphere 4」(ESX) があります。

次に「VMware Player」と「VMware Server」ですが、

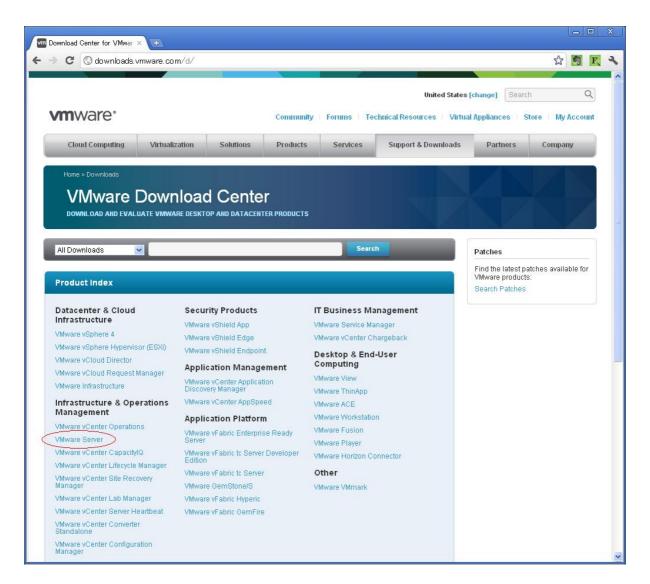
つまり、イメージ(ファイル)を他のマシンに移動させたり、バックアップすることができません。

しかしながら、VMware Player は、VMware Server よりも動作が軽いという特長があります。 もし、マシンのスペックが弱く、バックアップの必要もないなら、VMware Player にする方がよい でしょう。

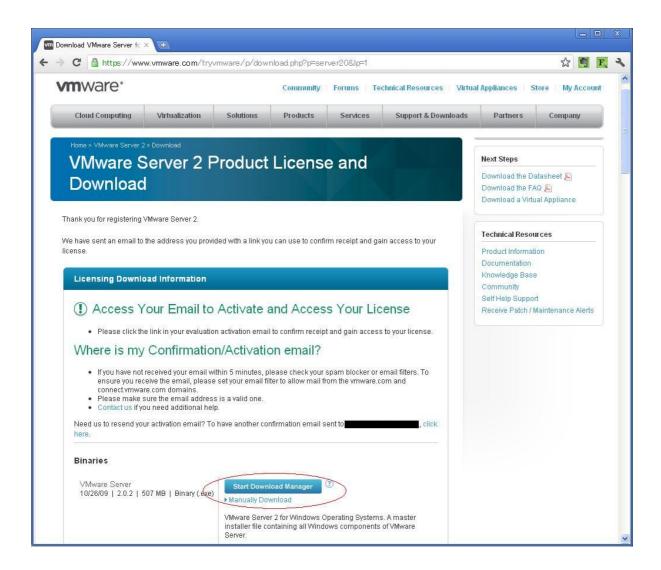
参考: VMware Server は、仮想OSが未起動でも70MB近くのメモリを消費します。

手順1 VMware Player をダウンロードします。(VMware Server でも構いません)

そのため、ダウンロードできるものは、2009年の製品です。 仮想OSをイメージ化できる上では、VMware Server を使いたいところですが、本執筆では、 VMware Player で説明していきます。



ダウンロードには、無償のユーザ登録が必要です。 ユーザ登録後、ダウンロードすることができます。



それなりに大きなファイルですので、ダウンロードには、しばらく時間がかかります。 手順 2

メールで送られてきたリンクを選択し、ライセンスキーをメモしておきます。 (インストール時に必要となります。) access download information.

Get Started

Access your VMware Server License and access your download

Getting Help with VMware Server

VMware Server Data Sheet

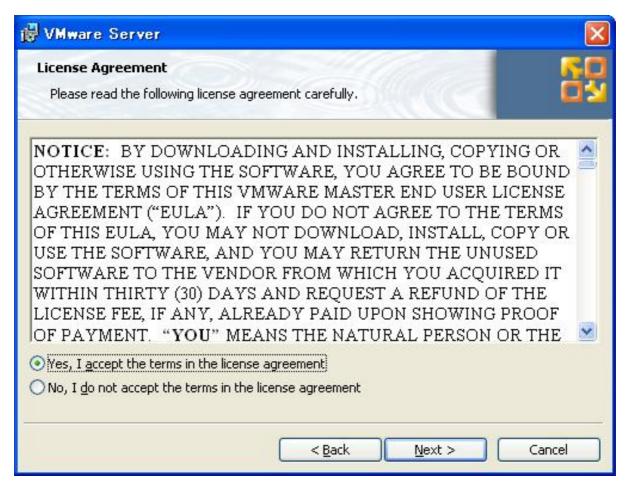
VMware Communities

Buy Support for VMware Server

手順3



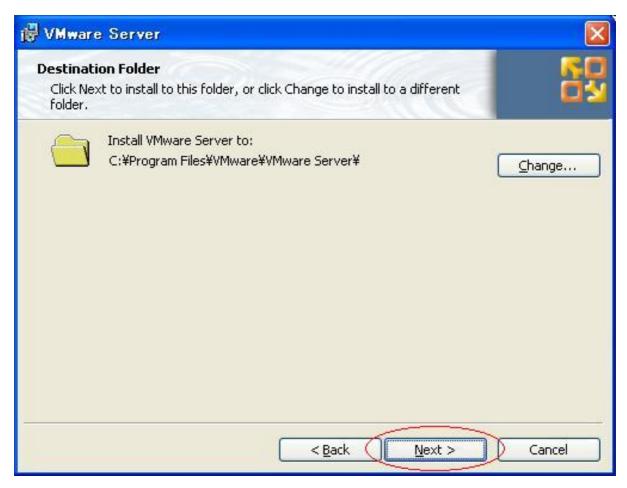
手順4



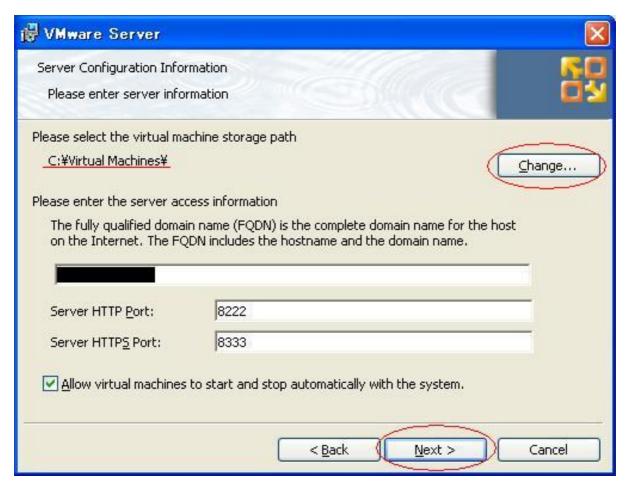
手順5



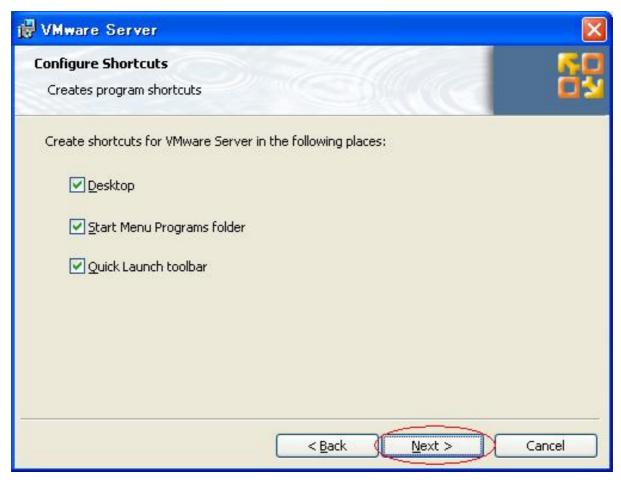
手順6



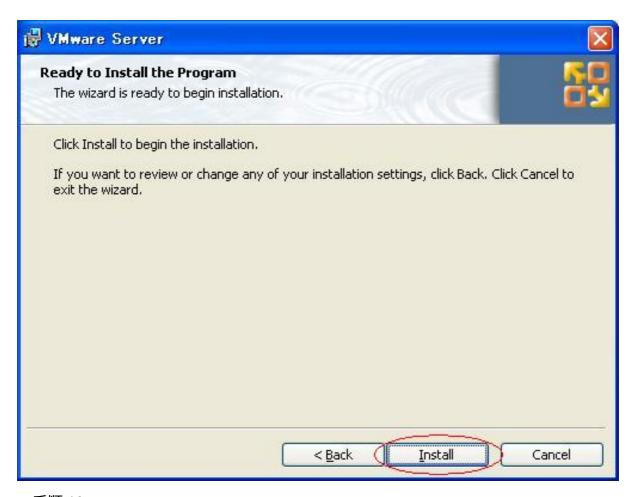
手順7



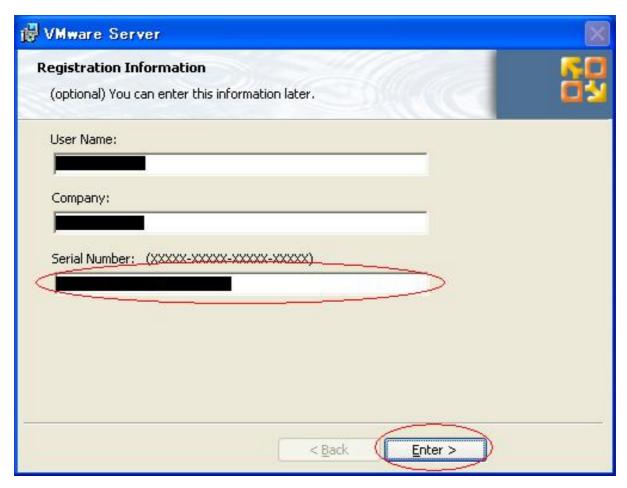
手順8



手順9



手順 10



手順 11



<u>123</u>